

第

226

2017年5月25日（木）
於：318ゼミ室

インド洋島嶼地域ザンジバル におけるカタクチイワシ漁

一輸出品としての干物加工産業の成長と地域経済の変容一

藤本 麻里子

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究資料センター 研究員



タンザニアのインド洋島嶼地域ザンジバルでは、カタクチイワシ漁とその加工産業が展開されている。周辺国において魚加工品の需要が拡大しており、漁村の人々は、輸出品としての干物加工産業に様々な形でかかわってきたが、近年そのかわり方に大きな変化が起こっている。地元の人々が地域資源から恩恵を受けられなく

なりつつある現状を紹介し、ザンジバルの漁村で、今まさに求められている仕組みや対策を現場の声を元に考察したい。

アフリカ 地域 研究会

227

第

2017年6月15日（木）
於：中会議室

地に呪われた者との再会

一生物学はアフリカに何ができるか一

牛田 一成

京都府立大学大学院生命環境科学研究所 教授



アフリカで野生動物の食物や腸内細菌の研究を進めている。野生動物保護や環境保全という大きな目標はあるが、彼らの「謎」や「不思議」を解明したいからでもある。その一方で、微生物学の実践から、具体的な微生物が採取されると、これらが往々にして産業的な価値を持つことがある。フランツ・ファノンの言う「建設されぬがよい橋」とはなにか、逆に「建設されるべき橋」とは何かについて、自身の主催するプロジェクトで考えている事についてもディスカッションしたい。



第

228

2017年7月20日（木）
於：中会議室

アフリカにおける民主化の行方

一モザンビークにおける政治暴力発生メカニズム一

網中 昭世

日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所
地域研究センター アフリカ研究グループ 研究員



1990年代に内戦の終結と民主化を経験したアフリカ諸国では20年以上が経過し、この間に複数回の国政・地方選挙を経て、民主化が一定程度進んだ。しかし、モザンビークでは民主化の過程で規範的制度とは裏腹に権威主義的な政治体制が強化され、野党第一党と国軍・警察との間で武力衝突が発生している。本発表では、選挙を通じた野党の政治空間の縮小と



最大の支持層である除隊兵士の処遇の関係性に着目し、近年の武力衝突のメカニズムについて考えた。

会場：京都大学稲盛財団記念館3階
318ゼミ室、中会議室

時間：午後3時～5時
参加無料、申込み不要

お問い合わせ：京都大学アフリカ地域研究資料センター
電話：075-753-7803
E-mail: caasas@jambo.africa.kyoto-u.ac.jp
HP: <http://jambo.africa.kyoto-u.ac.jp>